VT716201

はじめてお使いになる方へ 簡単ガイド

デジタルカメラ X-3

電話等でのご相談窓口
カスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-084215
携帯電話・PHSからは0426-42-7499
調査等の合事上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。
営業時間　平日　9：30〜21：00
　土・日・祝日　10：00〜18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

OLYMPUS
http://www.olympus.co.jp/
当社ホームページにて、製品仕様、パソコンとの接続、OS 対応の状況、Q&A などの各種情報をご提供しております。

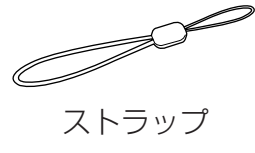
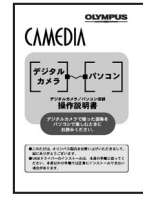
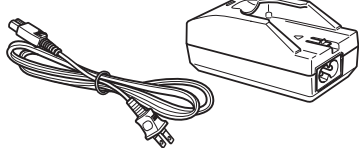
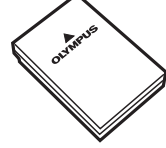
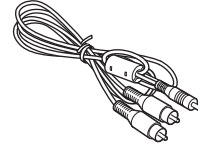
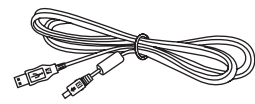
このたびは、オリンパス製品をお買い上げくださいましてありがとうございます。

スタート

本紙は、すぐに使いたい方のために基本操作を説明したガイドです。
手順に沿って進めてください。

詳細なカメラの操作、パソコンとの接続やCD-ROMの取扱いにつきましては付属の各説明書をご覧ください。

1 箱の中身を確認しましょう

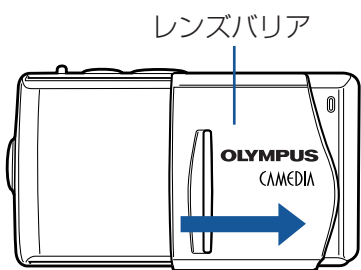
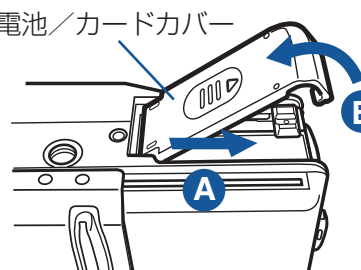
以下の付属品は、本紙の説明で使用します。

デジタルカメラ / ストラップ / カメラ取扱説明書 / デジタルカメラ/パソコン接続操作説明書 / カード（xDピクチャーカード）/ カード取扱説明書 / リチウムイオン電池充電器（LI-10C） / リチウムイオン電池（LI-12B） / AVケーブル / USB ケーブル / CD-ROM/インストールガイド

この他に、保証書、ご愛用者登録はがき等が入っています。

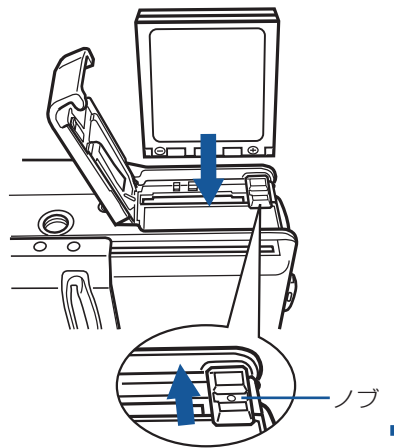
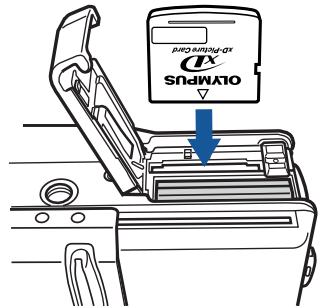
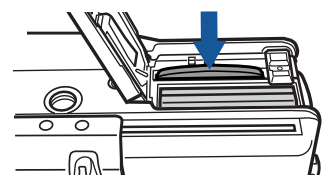
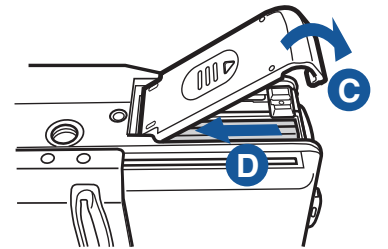
2 カメラの準備をしましょう

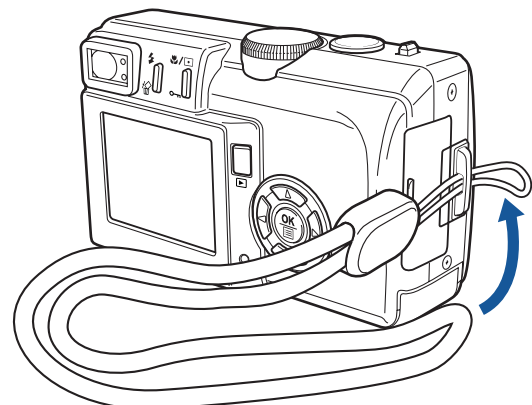
カメラを使い始める前に、これらの準備をしてください。

ご使用の前に付属の充電器で電池の充電を行ってください。

a. 電池・カードを入れる／取り出す

1) レンズバリアが閉じられているかを確認してください。

2) 電池／カードカバーを Ⓐ の方向にスライドさせます。
ロックが外れてカバーが Ⓑ の方向へ開きます。
- カバーをスライドさせるときは指の腹を使って開けて下さい。爪などを使うとけがをすることがあります。

3) **電池を入れる**
電池の向きを正しく合わせて入れます。
- ノブがしっかりロックされていることを確認します。正しくロックされていないと、カバーを開けた際に電池が飛び出すことがあります。

電池を取り出す
矢印方向にノブをスライドさせます。電池が出てきたら、つまんで取り出します。

4) **カードを入れる**
カードの向きを正しく合わせて入れます。

カードを取り出す
カードを一度奥に向かって押し込んで、そのままゆっくり戻します。
- カードが手前に出てきて止まります。カードをつまんで取り出します。

5) 電池／カードカバーを Ⓒ の方向に閉じ、Ⓓ の方向にスライドさせます。

b. ストラップを取り付けます

図のようにストラップを取り付けます。

3 カメラの電源を入れる

a. 電源を入れる（撮影モード）

レンズバリアを開きます。液晶モニタが点灯し撮影モードで電源が入ります（電源ランプが点灯）。

電源を切る

レンズバリアをレンズのところまで少し閉じます。
レンズに触れる直前にカチッという感触があり、液晶モニタが消灯しレンズがゆっくり引っ込みます。レンズが引っ込んでから、レンズバリアを完全に閉じます。電源が切れます（電源ランプが消灯）。

ヒント **電源を入れたままで何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、カメラはスリープモード（待機状態）に入ります。ズームレバーやシャッターボタンを操作すると動きます。**

b. 日時の設定

カメラの日時を設定します。日時は撮影した画像と一緒に保存されますので、撮影前に正しく設定されているかを再度ご確認ください。ここでは AUTO モードを例に説明します。

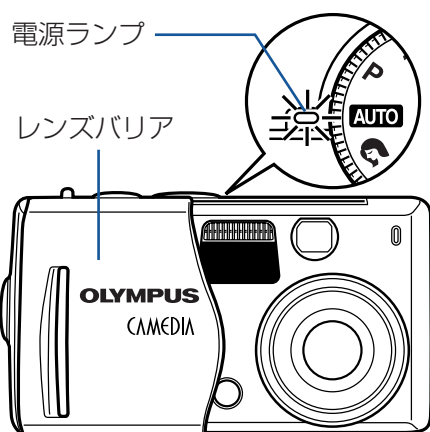
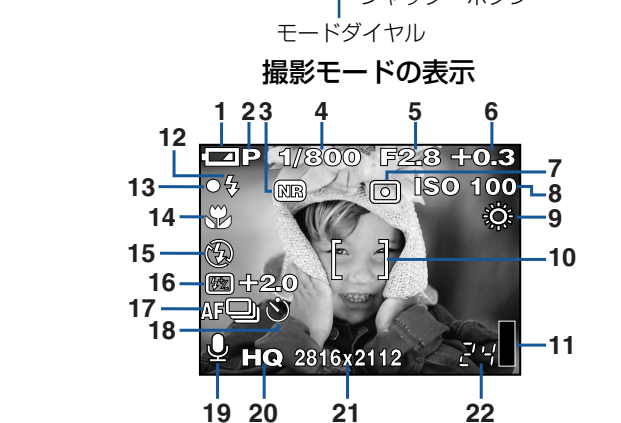
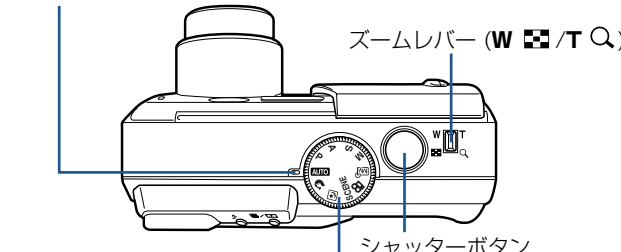
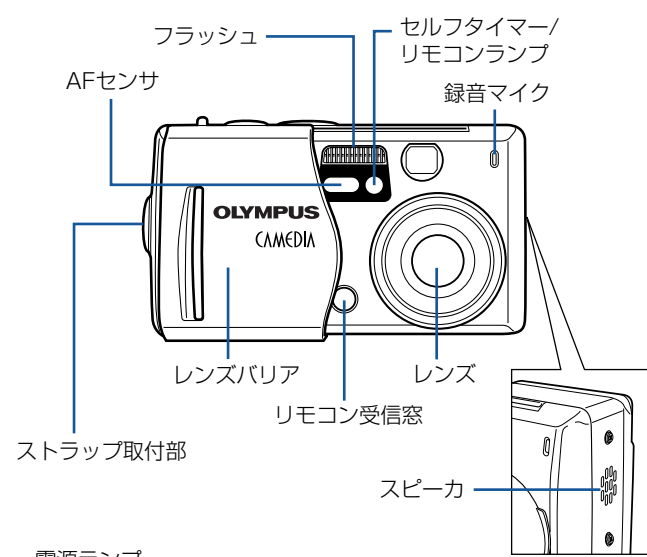
1) モードダイヤルを AUTO にして、レンズバリアを開きます。電源ランプが点灯し、レンズが自動的に前に出てきます。
2) Ⓞ を押します。トップメニューが表示されます。
3) ◯ を押して、［日時設定］を選択します。
4) マークが選択されているときに、◯◯ を押して日付の順序を選択します。
この手順以降は、「年・月・日」に設定した場合の説明します。
5) ▷ を押して、年の設定に移動します。
6) ◯◯ を押して、［年］を設定します。［年］が確定したら、▷ を押して［月］の設定に移動します。
- ［分］までの設定を同様に繰り返します。
- カメラの時間表示は24時間表示を使用しています。たとえば、午後2時は14：00と表示されます。
- ［年］の上2桁は固定されています。

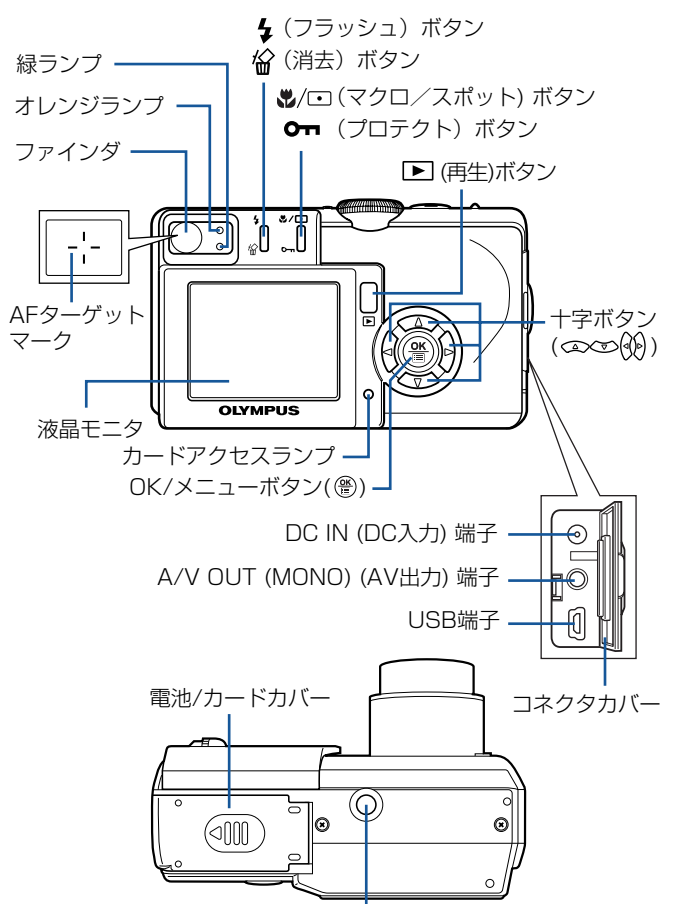
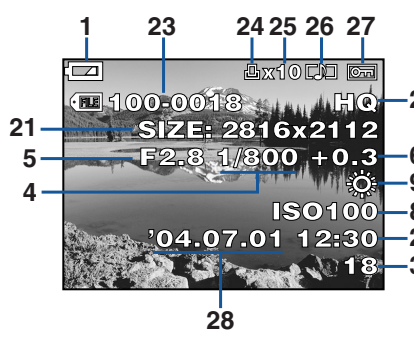
7) Ⓞ を押します。0秒の時報に合わせを押すと、正確に時間を合わせられます。
時計はこのとき動き始めます。

c. 各部の名称

緑ランプ / オレンジランプ / ファインダ / AFターゲットマーク / 液晶モニタ / カードアクセスランプ / OK/メニューボタン / （フラッシュ）ボタン / （消去）ボタン / （マクロ／スポット）ボタン / （プロテクト）ボタン / （再生）ボタン / 十字ボタン / DC IN（DC入力）端子 / A/V OUT（MONO）（AV出力）端子 / USB端子 / 電池/カードカバー / コネクタカバー / 三脚穴

撮影モードの表示

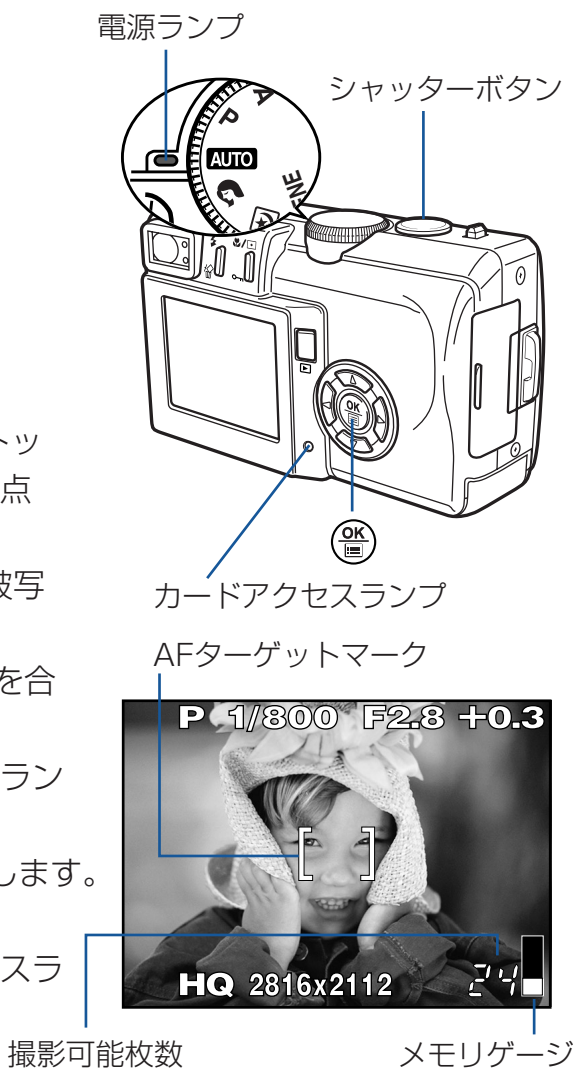
再生モード（静止画）の表示

1	電池残量	8	ISO感度	16	フラッシュ補正	23	ファイル番号
2	撮影モード	9	ホワイトバランス	17	ドライブモード	24	プリント予約
3	ノイズリダクション	10	AFターゲットマーク	18	セルフタイマー/リモコン	25	プリント予約枚数
4	シャッター速度	11	メモリゲージ	19	録音	26	録音
5	絞り値	12	フラッシュ発光予告	20	画質	27	プロテクト
6	露出補正 露出レベル	13	緑ランプ	21	画像サイズ	28	日付
7	スポット測光	14	マクロ/スーパーマクロ	22	撮影可能枚数 撮影可能時間	29	時刻
		15	フラッシュモード			30	コマ番号

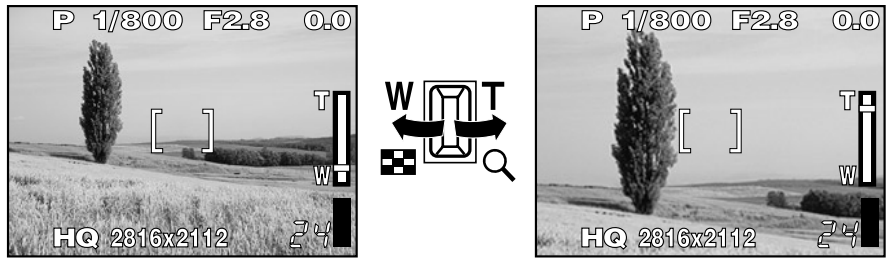
液晶モニタの表示内容は、カメラの設定により異なります。

Printed in China

4 撮影しましょう

液晶モニタかファインダを使って撮影します。
撮影条件で使い分けてください。
詳しくは取扱説明書をお読みください。

a. 静止画を撮る

1) モードダイヤルを AUTO にします。
2) レンズバリアを開きます。
   - 電源ランプと液晶モニタが点灯します。
     液晶モニタが点灯しない場合は、OK を押してトップメニューを出し、［モニタオン］を選択して点灯させます。
3) 液晶モニタを見ながら、AFターゲットマークを被写体に合わせます。
4) シャッターボタンを軽く押して(半押し)、ピントを合わせます。
   - ピントと露出が固定されると、液晶モニタの緑ランプが点灯します。
   - フラッシュが発光するときは、⚡マークが点灯します。
5) シャッターボタンを押し込みます(全押し)。
   - メモリゲージの一番下が点灯し、カードアクセスランプが点滅して、カード記録が始まります。

電源ランプ
シャッターボタン
カードアクセスランプ
AFターゲットマーク
P 1/800 F2.8 +0.3
HQ 2816x2112 24
撮影可能枚数
メモリゲージ

b. 光学ズームを使う

ズーム倍率3.0倍（光学ズーム35mm カメラ換算：38mm〜114mm）の広角から望遠の撮影ができます。
1) ズームレバーをたおします。

広角: ズームレバーをW側にしたとき　望遠: ズームレバーをT側にしたとき

c. フラッシュ撮影

撮影状況・目的にあわせてフラッシュモードをお選びください。撮影条件によっては選べないフラッシュモードもあります。
1) 使いたいフラッシュの表示が出るまで、繰り返し ⚡（フラッシュモード）ボタンを押します。

マーク	フラッシュモード	機能
表示なし	オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
👁	赤目軽減	本発光の前に数回の予備発光を行い。目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。
⚡	強制発光	フラッシュを必ず発光させます。
⚡SLOW	スローシンクロ	遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。
👁⚡ SLOW	赤目・スローシンクロ	スローシンクロを使ってフラッシュ撮影をしながら、赤目軽減の効果も得られます。
⊘	発光禁止	フラッシュは発光しません。

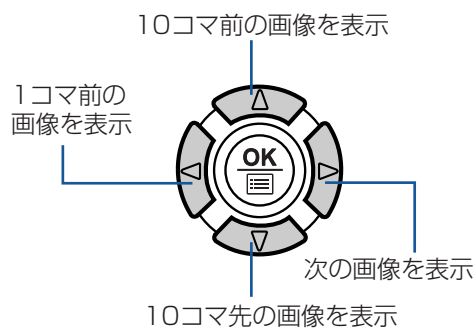
2) 撮影します。フラッシュが発光条件のときは、オレンジランプと ⚡ マークが点灯します。

5 撮った画像を見ましょう

デジタルカメラは撮った画像をすぐに見たり、削除することができます。

10コマ前の画像を表示
1コマ前の画像を表示
次の画像を表示
10コマ先の画像を表示

a. 静止画を観る

1) ▶（再生）ボタンを押します。
   - 液晶モニタが点灯し、撮影した画像が液晶モニタに表示されます。（1コマ再生）
   - カメラが撮影モードでも、すぐに再生モードに切り替わります。
2) 他の画像を再生するには、十字ボタンを使います。
   - ムービーには 🎥 マークがついています。
3) 再生をやめるときは、▶ ボタンを押します。
   - 液晶モニタが消灯して、電源が切れます。
   - 手順1で撮影モードから再生をはじめた場合、撮影モードに戻ります。シャッターボタンを半押ししても、撮影モードに戻ることができます。

b. 画像を消去する

デジタルカメラでは、残しておきたい画像を保存したり、不要な画像を削除することができます。また、新たな画像を撮影するために、空いているメモリスペースを再利用できます。このカメラには画像を削除する方法が2つあります。

1コマ消去

表示している画像だけを削除します。

⚠ 消去した画像は元に戻せません。

1) ▶（再生）ボタンを押して電源を入れます。
2) 十字ボタンを使って消去したい画像を表示します。
3) 🗑（消去）ボタンを押します。
4) △▽ を押して［消去］を選択します。OK を押します。

全コマ消去

プロテクトをかけた画像以外、カード内のすべての画像を消去できます。

⚠ 消去した画像は元に戻せません。

1) ▶（再生）ボタンを押して電源を入れます。
2) OK を押して、▷ を押して［モードメニュー］を選びます。
3) △▽ を押して［カード］タブを選び、▷ を2回押します。［カードセットアップ］画面が表示されます。
4)［全コマ消去］を選びます。OK を押します。
5) 消去を実行すると、全画像を元に戻すことはできないので、消去を行うかどうかの確認画面（［消去］か［中止］を選びます）が表示されます。［消去］を選び、OK を押します。

6 パソコンに接続しましょう

カメラとパソコンを接続すると、カード内の画像をパソコンに保存することができます。

a. Windows98/98SE ではUSBドライバのインストールが必要です

注意 Windows 98/98SE以外の方は、手順bからお読みください。

1) 付属のCD-ROM をパソコンにセットします。
2) メニューが表示されます。
3) 画面左側のメニューから［USB ドライバのインストール］を選びます。
4) 画面右下の［USB ドライバインストール］を選んで次へ進んでください。

詳しくは、「デジタルカメラ／パソコン接続操作説明書」をご参照ください。

b. パソコンに接続します

1) カメラの電源が切れていることを確認してください。
   - カメラのレンズバリアは閉じられていますか？
   - 液晶モニタは消灯していますか？

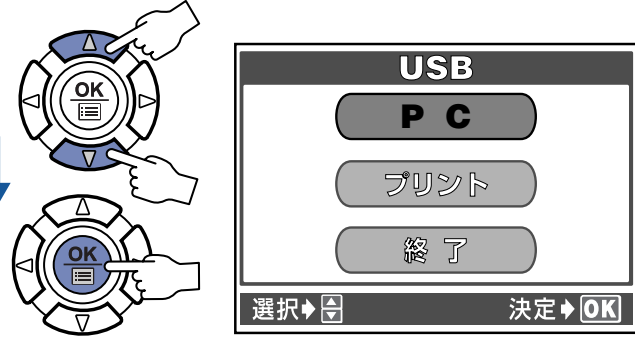
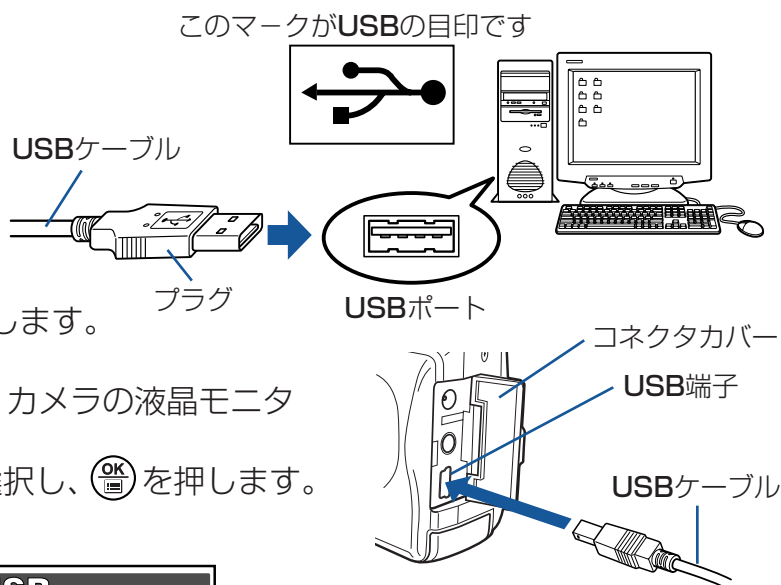
注意 パソコンとの接続中に電池容量がなくならないように、十分に充電された電池をご使用ください。なおパソコンとの通信が長時間になる場合は、別売のAC アダプタ（D-7AC）のご利用をお薦めします。

2) パソコンのUSBポートにUSBケーブルを接続します。

このマークがUSBの目印です
USBケーブル
プラグ
USBポート

3) カメラにUSB ケーブルを接続します。
4) ▶（再生）ボタンを押します。
   - パソコンとの通信が始まり、カメラの液晶モニタに選択画面が表示されます。
5) △▽ を押して［PC］を選択し、OK を押します。

コネクタカバー
USB端子
USBケーブル

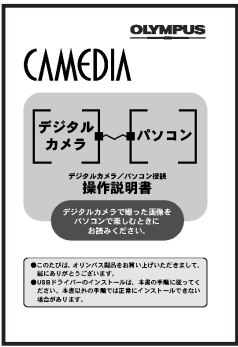
USB
P C
プリント
終 了
選択 ⇕　決定 OK

c. パソコン画面上に新たにアイコンが現れます

もっとカメラの機能を使いこなしたい方へ

カメラの機能や詳しい操作方法については…

「取扱説明書」をご参照ください。

- 撮影シーンに合わせた最適な設定で撮影できます。
- ムービーを撮影できます。
- 光学ズームとデジタルズームを併用して望遠撮影できます。
- 撮影した画像の簡単な編集ができます。
- PictBridge対応プリンタとカメラを接続してダイレクトプリントできます。

撮影した画像をパソコンに保存するときは…

「デジタルカメラ/パソコン接続操作説明書」をご参照ください。

- 「デジタルカメラ/パソコン接続操作説明書」で、以下の操作手順を説明しています。

- Windows98用USBドライバのインストール方法
- カメラの認識状態を確認する方法
- カメラの画像をパソコンへ保存する方法
- カメラをパソコンから取り外す方法　等

撮影した画像をパソコンで楽しむときは…

付属の CD-ROM をパソコンへセットして、CAMEDIA Masterで画像編集などをお楽しみいただけます。

- 画像管理編集ソフト「CAMEDIA Master」をインストールすることができます。
- オンラインユーザー登録ができます。
  （事前にインターネットに接続されていることをご確認ください。）